

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
2-1	防災対策を強化する	市長室					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	改訂計画 策定時	実績値				5年度 目標値
			2年度	3年度	4年度	5年度	
地域や団体等が実施する防災訓練数（年間）	回	407	288	311			422
ほっとメールひらつか（地震風水害情報）の登録者数	人	8,960	9,502	10,138			9,500
関連事業							
災害情報伝達事業 防災訓練強化事業 災害用備蓄拡充事業 地震・津波防災対策事業 災害対策本部対応力強化事業 風水害対策事業							
決算額							
	2年度	3年度	4年度	5年度			
事業費(千円)	202,549	127,040					
執行率(%)	95.68	89.34					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<p>「災害対策本部対応力強化の推進」</p> <p>外部有識者による講演や訓練等を実施することで関係部班職員の災害時の対応力を強化するとともに、より実効性が高くなるよう組織体制の見直しに着手しました。</p> <p>「防災訓練強化の推進」</p> <p>総合防災訓練では、防災関係機関の連携強化を目的に地震対応訓練を行い、訓練の様子を動画公開することで市民の防災・減災への意識の高揚を図りました。また、各種ハザードマップを活用したマイ・タイムラインの普及や感染症に配慮した避難所開設訓練のほか、津波の浸水区域を対象とした津波避難訓練を実施しました。</p> <p>「災害用備蓄の拡充」</p> <p>避難者の多様なニーズに対応するため、長期保存食のメニューを増やしました。</p>							

「地震・津波・風水害対策の推進」

防災行政無線の保守点検と必要な修繕、機器のデジタル化及び防災ラジオを希望する市民への有償配布を行い、地震や台風、大雨などの災害時に市民に迅速に災害情報を伝達しました。

高潮災害想定区域指定に基づいた「高潮ハザードマップ」を作成し、全戸に配布しました。また、市民団体と連携した啓発講座を実施するとともに、より幅広い世代に向けた事業として観光の視点を取り入れた「防災さんぽ」を実施し、市民の更なる防災意識の醸成を図りました。

施策を推進する上での「課題」

「災害対策本部対応力強化の推進」

災害発生に対し、災害対策本部のより実効的な体制づくりが必要です。

「防災訓練強化の推進」

各種ハザードマップを活用したマイ・タイムラインの作成の促進など、自助・共助に関する防災意識の向上を図る必要があります。

「災害用備蓄の拡充」

備蓄品の保管スペースの拡充や長期保存食の適切な保有と管理について、検討する必要があります。

「地震・津波・風水害対策の推進」

災害時の市民の安全を確保するため、災害情報を迅速に伝達する必要があります。

より幅広い世代の市民に対する防災意識の醸成が必要です。

課題解決を図るための「取組方針」

「災害対策本部対応力強化の推進」

外部有識者による訓練を充実するとともに、組織体制の見直しを進めます。

「防災訓練強化の推進」

自助・共助における防災意識の向上を図るため、各種ハザードマップの被害想定に応じた訓練の提案や、職員派遣による支援を行います。

「災害用備蓄の拡充」

災害協定等による流通備蓄の拡大、家庭内や事業所内での備蓄取組を啓発します。

「地震・津波・風水害対策の推進」

防災行政無線での放送のほか、テレフォンガイド、ほっとメールひらつか、防災ラジオ、ツイッター、緊急速報メール等の多様な手段で情報発信を行います。また、新たに防災行政無線の放送内容を平塚市 LINE 公式アカウントから配信する取組を始めます。

市民の防災意識や地域の防災力の向上に向けて、より幅広い世代の市民が関心を高める事業を推進します。